

2005年3月1日

各位

カルナバイオサイエンス株式会社
代表取締役社長 吉野 公一郎

生化学工業株式会社と化合物導出にかかる オプション契約を締結

カルナバイオサイエンス株式会社(本社:兵庫県神戸市、社長:吉野公一郎)と生化学工業株式会社(本社:東京都中央区、社長:榎 史朗)は、カルナバイオサイエンスが保有する医薬品候補化合物に関する技術について、生化学工業が全世界において独占的に開発・製造・販売することのできる権利を取得することを前提としたオプション契約を締結しました。

生化学工業が権利を留保する化合物は、平成11~15年度NEDO*プロジェクト(グリコクラスター制御生体分子合成技術開発)の成果を基に、カルナバイオサイエンスが北海道大学と共同で創製したアザ糖の誘導體で、マトリックスメタロプロテアーゼ(MMP)*及び腫瘍壊死因子 α (TNF- α)*変換酵素(TACE)を阻害するとともに、細胞膜に結合した上皮成長因子(EGF)*の遊離を阻害します。本化合物は、カルナバイオサイエンスが実施した前臨床試験で、皮膚のケラチノサイトの増殖及び炎症に対して抑制作用を示すことが明らかにされており、乾癬への適応が考えられています。現在、乾癬モデルを用いた薬理試験を実施中であり、その結果を待って両社は本契約の締結に移行する考えで、契約締結後、早期の臨床試験開始を目指します。乾癬は難治性の皮膚疾患で、世界で約8,000万人が治療を受けていると言われています。

なお、今回のオプション契約は、住商ファーマインターナショナル(本社:東京都千代田区、社長:佐々木 雅啓)の仲介により締結に至りました。

【カルナバイオサイエンス社の概要】

- | | |
|---------|--------------------------------------------|
| 1)商号 | カルナバイオサイエンス株式会社
Carna Biosciences, Inc. |
| 2)設立年月日 | 2003年(平成15年)4月10日 |

- 3)所在地 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町5丁目5番2号
神戸国際ビジネスセンター 511
- 4)代表者氏名 代表取締役 吉野 公一郎
- 5)資本金 7億3,170万円
- 6)事業内容 アッセイ構築、プロファイリング、タンパク質キナーゼ販売、
X線結晶構造解析情報の販売、創薬事業

【生化学工業社の概要】

- 1)商号 生化学工業株式会社
Seikagaku Corporation
- 2)設立年月日 1947年(昭和22年)6月2日
- 3)所在地 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目1-5
- 4)代表者氏名 代表取締役社長 榎 史朗
- 5)資本金 38億4,040万円
- 6)事業内容 複合糖質を中心とした医療用医薬品、医薬品原体、体外診断用医薬品(体外診断薬)、医薬部外品、化粧品、医療用具、生化学試薬等の製造および販売

以上

* NEDO プロジェクト:

NEDO は新エネルギー・産業技術総合開発機構の略称です。

* 乾癬:

欧米人に多く、全人口の2-3%が罹患していると言われており、表皮ケラチノサイトの異常増殖と皮膚の炎症を特徴とする慢性の炎症性皮膚疾患です。

* マトリックスメタロプロテアーゼ(MMP):

MMP は細胞外基質を分解する金属要求性蛋白質分解酵素の総称で、生理学的及び病理学的な組織破壊に関与しており、細胞の増殖等にも重要な役割を果たしています。

* 腫瘍壊死因子 α (TNF- α)

TNF- α は、腫瘍部位に出血性壊死を誘導する因子として発見され、生体防御や炎症反応の調節に広く関与するサイトカインの一種です。

* 上皮成長因子(EGF)

EGF は多くの細胞から産生され、細胞膜の EGF 受容体に結合して、上皮細胞のほか広範な細胞の増殖を促します。EGF 類似増殖因子は 7 種があり、その中でケラチノサイトが産生するものには、ヘパリン結合 EGF 様成長因子(HB-EGF)やアンフィレギュリン等が知られています。

このリリースに関するお問合せ先

カルナバイオサイエンス株式会社

経営企画担当 重田 恭子 Tel: 078-302-7039

電子メール: marcom@carnabio.com

URL: <http://www.carnabio.com>

生化学工業株式会社

総務部 IR・広報担当 鳥居 美香子 Tel: 03-3270-0966

この発表は、神戸経済記者クラブにおいてなされました。